

南白小の未来をえがく！

令和6年10月16日

府中市立南白糸台小学校

校長 西尾 克人

校長室だより 第8号

～子供たちの未来が明るくなるように～

問題を見だし、解決していく

教科横断的に身に付ける力として「問題発見・解決能力」があります。
算数・社会・理科では「問題発見・解決能力」を育成するため以下のような学習過程を重視しています。

物事の中から①問題を見だし、その問題を定義し②解決の方向性を決定し、③解決方法を探して計画を立て、④結果を予測しながら実行し、⑤振り返って次の問題発見・解決につなげていく過程

理科と社会の学習を掲載します。主に「問題を見だし、解決の方法を考える」場面です。

5年生…理科「植物の受粉、結実」



どちらがめしべかな？



こういう実験をすれば
確かめられる

1学期に「魚のたんじょう」を学習しています。科学的な用語である「受精卵」から魚が誕生することを学んでいます。また、雄花、雌花、花粉、受粉についても既習の内容です。

子供は雌花が実になるためには何が必要かという問題意識をもっています。魚の誕生と同じ理屈で植物も結実するのではないかと、既習の内容を関係付けて学習問題を発見する（見いだす）ことができました。学習問題は、次のようになりました。

学習問題…受粉が起こること、めしべが実となり、中に種ができるのではないかな？

学習問題を解決する実験方法も考えました。条件を1つだけ変える「条件制御」の実験が必要ではないかと考え、「受粉しためしべ」と「受粉していないめしべ」をふくろ等で覆って比較してみればよいと考えました。理科で身に付ける思考力を発揮する子供を頼もしく思いました。

5年生…社会「自動車工業のさかんな地域」

学習問題はこんな感じです。



私の調べたいことはこれです

自動車を買うときに重視することを、保護者の方への取材をもとに発表しました。「値段」「安全」「見た目」「品質」など、人それぞれに異なる選ぶ視点があることについて話し合いました。1日に生産される車は約2000台で、ほぼ1分間で1台の車が生産されることに驚き、「なんでこんなに速く、生産できるのか」などの疑問をもった子供たちが見いだした学習問題は、次のようになりました。

学習問題…自動車工場では、どのようにして安全な自動車をすばやくつくっているのだろうか？

子供たちは、タブレットのクラスルームにあげられた「大きな工場の上空写真」と「何人もの人が1台の車の組立に関わっている写真」を見て、学習問題を解決するために調べてみたいと考え、学習計画を立てていきました。一体感のある雰囲気、学びに向かう力が身に付いていることを実感できました。

3年生…社会「地域の安全を守る働き」



警察官の仕事は？



どうしたら安全は守られる

警察官の写真を見て、その仕事について考えていきました。「道を教える」、「悪い人を逮捕する」、「パトロールをする」など、まず、知っていることについて学級の複数の人と交流しました。

以前お伝えした「わいわいタイム」です。全体で共有してできた学習問題は下記の通りです。

学習問題…私たちの安全なくらしはどのように守られているのか？

学習問題を解決するために必要な、調べたいことを考えていきました。「警察官の1日の仕事を調べてみたい」、「安全のためにやっていることを調べてみたい」、「地域のボランティアの方々がどんなことをやっているか調べてみたい」など発表していきました。3年生らしく素直な様子をうれしく思います。

さらに加速する予測不能な社会を生きる子供たちには、未知な状況を打開する力である「問題発見・解決能力」を身に付けさせる必要があると考えています。